



久間 非常にオープンな会社だな、と
いうのが第一印象。企業の経理部とい
うと、入社からずっと「この道一筋」
の人たちばかりというイメージを持つ
て入社したり、私のように出向中の会
計士や税理士がいたり、といろんなバ
ックグラウンドの人々が集まっているの
です。加えて、大企業では一般的な「階
層」壁もそんなに感じさせず、上の人
との距離が近い。こうした環境だと働
きやすいですね。ただ同時に、自分
頭で考え判断する責任の重さも、大い
にびつたりでした。

「役立った会計士の 説明能力」

久間 リコーの印象、仕事の中身について教えてください。

久間 非常にオープンな会社だな、と

いうのが第一印象。企業の経理部とい

うと、入社からずっと「この道一筋」

の人たちばかりというイメージを持つ

て入社したり、私のように出向中の会

計士や税理士がいたり、といろんなバ

ックグラウンドの人々が集まっているの

です。加えて、大企業では一般的な「階

層」壁もそんなに感じさせず、上の人

との距離が近い。こうした環境だと働

きやすいですね。ただ同時に、自分の

頭で考え判断する責任の重さも、大い

にびつたりでした。

久間 最初の4年間は、大手メーカー

と物流企業の2社を中心とした監査に

携わりました。ちょうどJ-SOXが

導入されるタイミングで、監査をしな

がら、そのためのアドバイス的なこと

もやりました。

久間 私にとって大きな転機になったのが、5年目から総合商社のIFRS導入のアドバイザリー業務に就いたことです。

IFRSの導入段階では、経営的な提

案をできる余地がかなりあるんですね。

久間 最初の4年間は、大手メーカー

と物流企業の2社を中心とした監査に

携わりました。ちょうどJ-SOXが

導入されるタイミングで、監査をしな

がら、そのためのアドバイス的なこと

もやりました。

久間 私にとって大きな転機になったのが、5年目から総合商社のIFRS導入のアドバイザリー業務に就いたことです。

IFRSの導入段階では、経営的な提

案をできる余地がかなりあるんですね。

「これがらの目標は?」

久間 まずはIFRSの浸透に全力を尽くすこと。あとはせっかく一般企業に来たのだから、経営の視点や管理会計の部分をしっかりと勉強したいですね。

久間 そのままでもいい経験になるのですが、最終的に決めるのはあくまで会社。

久間 実はその商社には、この制度を使った人を含め、新日本から4人の会計士が

出向していたんですよ。彼らは「決める側」でした(笑)。

久間 アドバイザリーの仕事には、監

査とは違う面白さがありました。同時

にその業務を進めるうち、企業の中に

そこで、いろんな提案を行なうわけです

が、最後に決めるのはあくまで会社。

久間 本当に強みにしておきたい、

業務の知識が生かせるよう、「IFR

S導入に取り組んでいる企業に」とい

う希望を出しました。今後、IFRS

導入の流れが加速するのは間違いない

から、今のうちに強みにしておきたい、

と考えたのです。2014年3月期か

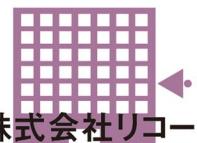
ら、有価証券報告書をIFRSで開示

することを決めていた当社は、その希

公認会計士「研修出向制度」 体験者リポート

vol. 18 取材・文／南山武志 撮影／大平晋也

新日本有限責任監査法人が2010年にスタートさせた、一般事業会社への会計士「研修出向制度」。本制度を活用し、自己成長に励む公認会計士たちのリアル・リポートをお届けする。



株式会社リコー



新日本有限責任監査法人

出向先はIFRS導入企業を希望
——大学卒業後、一般企業に入られていましたね。

久間 メーカーで3年間経理をやりました。経理に配属されたのはたまたまですが、例えば工場の人たちと、帳簿と在庫の差異をなくすためにはどんな商品管理をすべきなのか、などと話して改善を図つていくといった仕事に、やりがいを感じていました。で、

そのうち「他社ではどうやつているのか」ということに、すごく興味を覚えるようになったのです。会計士資格の取得を思い立つたのは、監査でいろんな企業を見てみたいという思いから。不安はありましたけど、ここであさらめたりつか後悔すると思い退職を決断。試験勉強に集中しました。

久間 不安はありましたけど、ここであさらめたりつか後悔すると思い退職を決めました。会計士資格の取得を思い立つたのは、監査でいろんな企業を見てみたいという思いから。不安はありましたけど、ここであさらめたりつか後悔すると思い退職を決断。試験勉強に集中しました。

久間 「監査法人ではどんな仕事を?」

久間 最初の4年間は、大手メーカーと物流企業の2社を中心とした監査に携わりました。ちょうどJ-SOXが導入されるタイミングで、監査をしながら、そのためのアドバイス的なことをやりました。

久間 私にとって大きな転機になったのが、5年目から総合商社のIFRS導入のアドバイザリー業務に就いたことです。

IFRSの導入段階では、経営的な提

案をできる余地がかなりあるんですね。

久間 私にとって大きな転機になったのが、5年目から総合商社のIFRS導入のアドバイザリー業務に就いたことです。

IFRSの導入段階では、経営的な提

案をできる余地がかなりあるんですね。

挑戦すれば未来へのオプションが増えていく。自ら変化することが大事

久間 裕之・36歳

株式会社リコーコーポレート統括本部
グローバルビジネスサポートセンター
コーポレートコントロール部 連結決算



イザリィ的な仕事をやりたい。将来的には、例えばコンサルタント会社でIFRS導入のお手伝いをしたりだと、いろんな可能性にチャレンジしたいという気持ちも持っています。

——若い会計士へのメッセージを。

久間 海外子会社が多いので、普通に英語でのやり取りをしなければなりません。語学力は監査法人に入所してから身につけたのですが、監査法人時代に米国に語学研修に行って、苦手意識を払拭できたというのが、今から思ってみると非常に大きかったです。出向制度も含め、監査法人というところは、やる気があればキャリアアップにつながる制度が充実しています。それらを積極的に活用すべきではないでしょうか。

監査法人に転職した時も、そこでア

イザリィ的な仕事をやりたい。将来的には、例えばコンサルタント会社でIFRS導入のお手伝いをしたりだと、いろんな可能性に